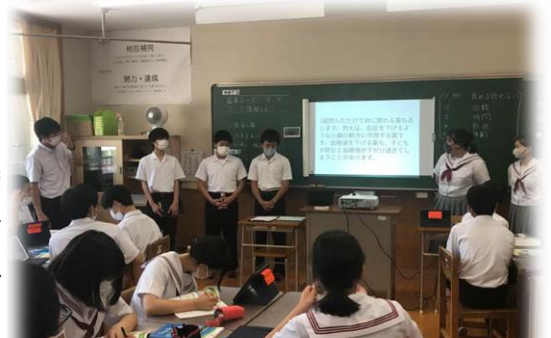




互見授業旬間 ～教師も研鑽～

6月20日(月)～7月1日(金)を「互見授業旬間」に設定し、職員間で授業を見合い、授業力向上を図る取り組みを行っています。今年度、本校は授業改善のテーマを「対話する力の習得」としています。ここでいう「対話する力」とは、課題解決に向け、新しい発想を作り出したり、友人に自己の考えを説明したり、友人の意見を取り入れたり、組み合わせることでアイデアをさらに発展させていく等の力です。そのため、当然ながら授業の中に課題解決に向けて「対話する場面」が設定されることとなります。職員で授業を見合い、「対話する場面」について、改善点を指摘し合ったり、好事例を共有することで授業力向上、そして生徒一人一人の学力向上を目指しています。



佐藤先生、保健の授業。薬を使用する際の注意点について、ネットで調べたり、班で意見交換するなどして、薬の性質や体の状態に留意して使用することの重要性を学ぶ授業でした。

「大山中 メディアルール」についての意見交換会

昨年度、本校生徒会が作成した「大山中 メディアルール」。現状では、なかなかルールを守れていない実態があります。3月に「どうしたら、ルールを守れるのか」生徒集会で意見交換を行いました。実態は好転していません(5月下旬のアンケートでは、45%が「守れていない」と回答)。そこで、生徒会が6月24日(金)に再度、「大山中 メディアルールについての意見交換会」を開催しました。今回は、意見交換が行いやすいように、全体を学年混合の5つの班に分け、その中で意見交換。その後、全体で意見発表をする形式で行いました。「休日3時間以内の利用は、絶対に無理」「朝7時前の利用を可能にしてほしい」といった意見が発表されたり、「宿題を早く終わらせ、10時には就寝するので守ることができている」「このルールは自分たちで決めルール。安易に『守れない』とあきらめるのではなく、まずは守る努力が必要」といった意見も発表されました。学校のタブレット持ち帰りがスタートするなど、メディアやSNSは生活や学習に不可欠なものとなっています。一方、「過剰な利用が生活リズムを壊したり、学習時間に影響する」といったことが起きています。この日の意見交換会では、時間が足りず方向性を決めるところまでは行けませんでした。生徒会では、引き続き、意見交換会を開催し、一人ひとりが正しくメディア、SNSを利用していけるよう(ルール改正も含めた)環境づくりに努めていく予定です。



「平日は守れるけど、休日は無理」「自分たちで決めたルールなのに、『守らなくてもいい』という雰囲気になっているのはおかしい」「人によって生活スタイルが違う。朝7時前はOKにしてほしい」など、大山中メディアルールの中でも1番の「利用時間」について、活発な意見交換が行われました。



大山中 メディアルール

- 1 時間を守って利用しよう! (平日は22時から7時まで利用禁止 休日は3時間以内)
- 2 自分と仲間の個人情報を守ろう! (個人が特定できる画像・動画・情報の書き込み禁止)
- 3 トラブルを未然に防ごう! (知らない人とのオンライン・チャット等の利用は控える)

